



いのち・性・AIDSを見つめる

Living with AIDS

207 号のニュースレター

1 面	定期総会のお知らせ／2017 年度会費のお願い
2 面～4 面	「恋愛とデートDV」授業参観の報告 中野久恵
5 面	フリーマーケット参加のお知らせ
6 面～8 面	第 25 期ボランティア学校のお知らせ／バザー参加のお知らせ他

定期総会のお知らせ

日時：2017 年 5 月 20 日（土）13 時受付 13 時 30 分開会

会場：横浜 A I D S 市民活動センター

* 第 25 回定期総会を開催するにあたり議案書をお送りします。会員の皆様のご出席をお願いします。尚、出席の可否について同封のハガキにてお知らせください。

5 月 19 日必着でお願いします。

2017 年度 会費納入をお願いします／* 払込用紙を同封しました

今年度の会員継続の手続きをしていただく時期になりました。引き続き会員になっていただき活動や運営を支援していただけますよう心よりお願いいたします。

振込先 ゆうちょ銀行

加入者名：NPO 法人 A I D S ネットワーク横浜

口座記号番号：00230-1-135371

会費 一般会員 6,000 円 学生会員 3,000 円 賛助会員 5,000 円

「恋愛とデートDV」の授業参観の報告

2017年3月9日

中野久恵

東京都足立区立鹿浜菜の花中学校3年生の人権教育「性の学習」の公開授業があり、参観してきました。この中学校は、卒業までに最低限学んでほしい「性の学習」を7時間の内容を組み立て、3年前からプログラムを作成して実践しています。今回、卒業を控えた3年生に「恋愛とデートDV」を2時間扱いの内容を参観してきました。

3年間の性の学習の内容は、1年では、①生命誕生②らしさについて考えよう2年では、③多様な性1 ④多様な性2 3年生では、⑤自分の性行動を考えよう(避妊と中絶)⑥恋愛とデートDV1 ⑦恋愛とデートDV2の合計7時間です。当然、この時間以外に保健体育の授業では、月経・射精、性感染症・エイズなどの学習は教科として学びます。

この学校でのこのプログラムのけん引役になっているのが、保健体育科の樋上典子さんです。3年前から校長先生の理解もあり、学校全体として進めること、そして授業はすべて公開としています。参観者は、教育委員会をはじめ、近隣の学校、保健所などの関係機関からもあります。当然、校内の教員も参観し自分で授業をやってみるという広がりも見られるようになっていたとのことでした。大学研究者との共同研究でもあり、指導案作成には研究者の助言、授業後の振り返りなども経ての公開授業でした。

1時間目内容は、前もって自分たちが回答したアンケート結果が配布されました。「あなたは、いま、好きな人がいますか？」（いると回答：男子39.7%女子47.4%）の回答結果から、自分たちの状況を共有していきますが、生徒たちは隣の人と話して盛り上がっています。

次に4コマ漫画が配布され、事例1と事例2について「登場人物の気持ちはどうだろう？」を各自が登場人物の気持ちを記入していきます。それを班ごとにバインダーに記録していき黒板に掲示していきます。

各班の内容を教師が読み上げていく中で、被害を受けている女子の「しつこい、めんどくさい、ダルイ、重いやな気持ち」に赤線を引いていきます。加害をして

いる男子の「すぐ返事がほしい、かまってほしい、不安、好きすぎる」などにも赤線を引いていきます。

資料「デートDVって何？」のプリントを配布して、暴力の内容について説明があり、からだへの暴力だけが暴力ではなくいろいろな暴力があることを知っていきます。デジタル暴力の説明では、「本校でもありましたね、写真を送れというトラブルが・・・」と説明していました。デートDVは、支配や暴力の関係に陥っていること、相手への人権侵害であること、また、気づくことが大事と続きます。

生徒に、どんなつきあいをしたいですかと問いかけ、生徒から「楽しい、何でも話し合える」という言葉を引き出していきます。

事例1：事例1を読んで、ミチとアキオはどんな気持ちか考えよう



事例2：事例2を読んで、ユリとジュンはどんな気持ちかを考えよう



2 時間目の授業は、前の時間の続きです。

前時に「あなたやあなたの周囲でデートDVと思われるようなことがありましたか?」のアンケートから、一部の事例を紹介していきます。

「しつこく写真を送ってくれと言われる、ラインをブロックしろと言われた、買って、買ってと言われる、一緒にいると自由になれない、ラインが来て眠れない、異性の話をする和不機嫌になる・・・」など中学生の身近なところにDVが潜んでいることが実感できました。

そこから授業は、こちよい関係＝対等な関係を築くために、相談役になって、回答してみるという展開になりました。

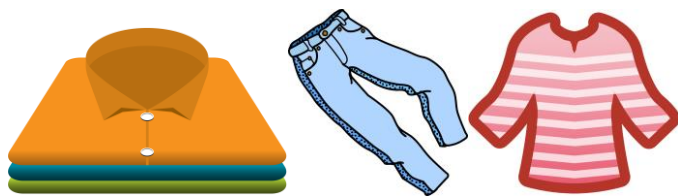
事例2の加害者のユリ（「ジュンが他の人としゃべるとイライラしちゃう」）にどうアドバイスするか、被害者のジュン（「他の人としゃべるとすぐ怒るし、アドレスまで消された」）にどうアドバイスするかを自分で考え、その考えを班で共有し、黒板に掲示しクラスで共有するという作業を行います。

その後「デートDV」解説資料を使用しながら、「対等な関係はどういうことか」「こちよい関係をつくるために」をいっしょに考えていきます。

2時間を通して、つきあうって、どういうこと、「関係性」に焦点を当てて考えていきます。キーワードとして「思い込みの改善」がありました。生徒同士で意見を交換しながら学び合う2時間の授業は、生徒にとってどう受け止められたのか、数年先の彼らに聞いてみたいと思いました。

衣類を中心に出品します

フリーマーケットに参加します



日時： 5月3日（水・祝）日本丸周辺

11時～15時

お暇があれば、家族や友人とお出かけください。お手伝いいただける方は、090-6157-1229 までご連絡ください。

第25期 AIDS ボランティア学校・電話相談員養成講座 受講生募集!

AIDS ボランティア学校は、電話相談員の養成、研修のための講座として始まり今年 25 年目を迎えます。HIV・AIDS について幅広い視点から学ぶ内容になっています。ご参加をお待ちしています。1 講座のみの受講も可能です。

主催：横浜市認定NPO法人 AIDSネットワーク横浜

(横浜市から委託を受けて水：18～21 時・土：15～18 時 電話相談を行っています)

第25期(2017年度)

AIDS ボランティア学校・電話相談員養成講座 プログラム

～HIV・エイズを通して学ぶ性の健康～知ることから はじめよう!～

開催予定日	No	時 間	講師 および テーマ
7/ 1 (土) 横浜 AIDS 市民 活動センター	1	10:30～12:30	多様な性 安達 倭雅子 (“人間と性” 教育研究協議会)
	2	13:30～15:30	HIV/AIDSの現在 北村 勝彦 (横浜聖隷病院小児科)
7/15 (土) 横浜 AIDS 市民 活動センター	3	10:30～12:30	HIVの検査 不安の解消も治療も検査から始まる 佐野 貴子 (神奈川県衛生研究所)
	4	13:30～15:30	感染者の方のお話 陽性者としての光と影 佐藤 郁夫 (日本HIV陽性者ネットワーク・ジャパン プラス)
8/ 6 (日) AIDS 文化フォーラム 会場：神奈川 県民センター	5	10:00～12:00	HIV感染者の分娩と未受診妊婦の問題 分娩にからむ社会的な問題の啓発に活躍 水主川 純 (聖マリアンヌ医大病院産科副部長)
	6	13:00～15:00 (13:30～)	性感染症にご注意! 「STDハートブック」、しらかば診療所で活躍の 井戸田 一郎 (新宿 しらかば診療所院長)

8/26 (土) 横浜 AIDS 市民 活動センター	7	10:30～12:30	感染者、患者の看護と介護 感染者の立場に立った看護・介護を進める 宮林 優子 (横浜市民病院感染症科看護師)
	8	13:30～15:30	感染者・患者の生活とソーシャルワーカーの役割 感染者の生活を守る制度とその実際を 友田 安政 (横浜市大付属病院)
9/ 9 (土) 横浜 AIDS 市民 活動センター	9	10:30～12:30	カウンセリング講座 ① (話の聴き方、話し方) 座る場所一つでも話しやすさが違います 小島 賢一 (荻窪病院血液科 臨床心理士)
	10	13:30～15:30	カウンセリング講座 ② (電話相談では・・・) 顔が見えないからこそ心を開けることも 小島 賢一 (荻窪病院血液科 臨床心理士)

日 時 上のプログラムを参照してください。

会 場 横浜 AIDS 市民活動センター (中区尾上町 3-39 尾上町ビル 9 階)
8 月 6 日の講座は、神奈川県民センター
(AIDS 文化フォーラム会場)

受講料 無料

申込み 下段の申込書に必要事項を記入し、FAX、Eメール、郵送でお申し込みください。

※本会ホームページからも申し込みができます。 定員：20名

宛 先 : ・FAX 045-201-8809
・Eメール any@netpro.ne.jp
・郵送の場合
〒231-0015 横浜市中区尾上町 3-39 尾上町ビル 9F
横浜 AIDS 市民活動センター内 AIDS ネットワーク横浜

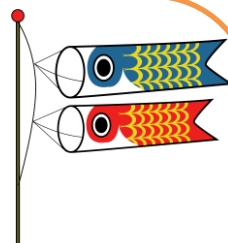
問い合わせ：090-6157-1229 (留守電の場合は「ボラ学校」と連絡先を録音して下さい。こちらからご連絡いたします。)

第 25 期 A I D S ボランティア学校 受講申込書

氏名 (フリガナ)	住所									
	〒									
受講希望の講座NOに○をつけて ください	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
	全講座を受講します									
電話	F A X						e-mail			

* 受講申し込みをされたことで、受け付けは完了します。当日、会場にてお待ちしております。

お知らせ



☆ 電話相談件数 : 3 月 77 件

☆ 事例検討会 & 個人情報研修会 5 月 1 3 日 (土) 1 3 時 ~

- 相談員の方はできるだけご出席ください。
- 相談内容の集約 (分類) についての相談があります。

ANYニュースレター Living with AIDS

編集発行 : 特定非営利活動法人 AIDS ネットワーク横浜

〒231-0015 横浜市中区尾上町 3-39 尾上町ビル 9F

Tel : 045-201-8808 Fax045-201-8809

ホームページ : <http://www.netpro.ne.jp/any/> e-mail ; any@netpro.ne.jp